

令和7年度 学校評価報告書【全日制】(目標設定・実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
1	教育課程 学習指導	<p>① 工業高校の特色を生かした多様な学習ニーズに対応できる指導の充実や組織的な授業改善に取り組む。魅力ある新校を創造する。</p> <p>② 専門教育充実のため、資格取得の推進、企業や大学、専門学校等との連携など、工業高校としての魅力をより一層充実する。</p>	<p>① インクルーシブな学校づくり、授業づくりの観点に立ち、組織的な授業改善に取り組む。創造力育成WGと連携した魅力ある新校を目指す。</p> <p>② 資格取得やものづくりコンテスト等の挑戦を支援する。また、校外見学実習において企業・上級学校等との連携事業を推進する。</p>	<p>① ICT機器や生徒による授業評価また創造力育成ワークシートなどを活用する組織的な研究授業を計画する。また、インクルーシブな授業づくりの観点を生かした授業を実践する。</p> <p>② 資格・検定を案内し、受検者を募るとともに補習等を実施し取得に向けて支援する。ものづくり支援費を活用しコンテスト等参加への経済的な支援を行う。</p>	<p>① 研究授業の結果や生徒による授業評価の肯定的意見が7割以上か。また創造力育成ワークシートの改善が出来たか。</p> <p>② 資格・検定に取り組む生徒が増えたか。資格検定の合格率が上がったか。ものづくりコンテストに参加できたか。購入した道具や材料が生かされたか。</p>					
2	(幼児・児童・)生徒指導・支援	<p>① 個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を充実するとともに、基本的生活習慣の確立に向けたきめ細かい生活指導に取り組む。</p> <p>② 学校行事や生徒会活動を充実させ、生徒の主体的活動を支援する。また、部活動の活性化や各種コンテスト、競技会への参加を通して、生徒の達成感、連帯感、責任感を涵養する。</p>	<p>① 個に応じた支援のための組織的な教育相談体制を維持するため、SC・SSW・教育相談コーディネーターとの連携を重視するとともに、基本的生活習慣を確立し、生徒の規範意識の向上に努める。</p> <p>② 新校への移行も見据え、生徒が各種生徒会行事に主体的に取り組む、自身の自己肯定感が高まるようなきめ細やかな指導・助言に努める。</p>	<p>① サポートドッグやケース会議等を活用し、教育相談会議の充実を図り、支援が必要な生徒の情報共有を心がける。身だしなみ指導についても今まで以上に取り組む。</p> <p>② 新校に向けては、Google Forms等を利用しながらHR等の意見を取り入れ、両校の生徒会役員を中心とした会議の場を設定し、各種行事等の在り方を検討する。生徒会本部の定例会を中心に各委員会と協働した行事運営を行う。</p>	<p>① 教育相談会議が機能をしているか。生徒の特別指導の件数が例年より減少したか。</p> <p>② 新校への取組や、各行事終了後に行うアンケートにて、生徒会行事への参加意識や活動意識の高まりが見取れたか。また、生徒の自己肯定感や他者への理解を高めることができたか。</p>					

	視 点	4 年間の目標 (令和6年度策定)	1 年間の目標	取組の内容		校内評価		学校関係者評価 ( 月 日実施)	総合評価 ( 月 日実施)	
				具体的な方策	評価の観点	達成状況	課題・改善方策等		成果と課題	改善方策等
3	進路指導・支援	① 生徒一人ひとりの進路実現に向けた指導、支援の充実を図る。  ② これからの時代に必要な資質や能力を育成するためのキャリア教育を推進する。	① 生徒が様々な情報のもとに、自身の進路希望の実現が可能になるように指導、支援を行う。  ② 3年間の進路ガイダンスの内容を精査し、進路選択に必要な資質や能力を育成する。	① 3年間を通して進路学習や希望調査を定期的に行うことで、進路選択の意識を醸成する。インターンシップ等の参加を促し、進路選択の焦点化を促進する。 ② キャリアパスポートなど、進路に関する資料やガイダンス内容を精査する。	① インターンシップ等の参加率を向上させることができたか。  ② キャリアパスポートを効果的に活用できたか。また、説明会やガイダンスにより生徒の進路選択の一助となったか。					
4	地域等との協働	① 地域産業や地域社会との連携、協働による教育活動を充実する。  ② 地域や中学生に工業高校の魅力・特色を発信するため広報活動の充実を図る。	① 学校運営協議会を開催し、地域の声を活かして学校と地域が一体となって特色ある学校づくりを進める。  ② 生徒の活動の様子が伝わるような魅力ある情報発信に取り組む。HP と SNS の活用を充実させ、中学生及びその保護者に効果的に情報を届ける。新校開校の広報活動を行う。	① 学校運営協議会から頂いた昨年度の意見を反映し改善する。また、同協議会や地域の意見を踏まえ、新校の取組等について新たに議論する。 ② ホームページを定期的に更新する。SNS の発信を継続的に行う。大井高校と協働して新校開校向け学校説明会を行う。	① 学校運営協議会から頂いた昨年度の意見を反映し、改善できたか。また、同協議会や地域の意見を踏まえ、新校の取組みについて議論ができたか。 ② SNS や HP から情報を得て、学校説明会等に参加する中学生がいたか。学校説明会アンケートの満足度が7割を超えたか。					
5	学校管理 学校運営	① 生徒が安心して学校生活を送れるよう学習環境の整備や、地域を含めた防災体制の整備に取り組む。  ② 業務の共有・協働、効率化による風通しのよい職場をめざし、働き方改革の推進や事故不祥事の未然防止を図る。	① 生徒一人ひとりが防災に対し、当事者意識をもち、自ら考え行動できる意識付けを考慮した訓練等の実施・見直しを行う。ICT 環境を整備し、安心して利活用できる環境を整える。  ② 風通しのよい職場をめざし、働き方改革の推進や事故不祥事の未然防止を図る。	① 防災意識を高められる訓練等の在り方を検討・実施する。同時に防災設備の確認と、使用方法の理解・実技訓練等も検討する。ICT 環境においては引き続き利活用に適する環境の検討・整備をする。 ② 職員相互の連携により、業務が一人に集中することなく、遅滞や事故なく業務が遂行できるように、職員全体で業務内容の見直しを図る。	① アンケートにより当事者意識をもって訓練が出来たか等、意識改善がみられたか確認する。防災設備等の実技訓練等ができたか。常時、全ての生徒が ICT を利活用できる体制を整えられたか。 ② 業務改善に関するアンケートを活用し、回答内容に応じた議論を行い、業務の削減ができたか。					

